

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	人命検索のため運河内へ潜水した。	
経過2	当事者A	水深約9メートルで油圧ショベルを発見した。	
経過3	当事者A	油圧ショベル周囲を手探りで検索した。	
経過4	当事者A	ある所を境に視界及び方向感覚を失った。	
経過5	当事者A	回避しようとするも、身動きがとれなかった。	
経過6	当事者A	引っ掛かった細索がほどけ態勢を立て直した。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

・発生日時：平成18年5月 午前9時頃

経過	現場の状況	隊員A	備考
		隊員／消防士長 ・年齢 33 歳 ・勤続 8 年 ・現場 8 年 ・同様の活動: 1年に数度	
	「運河に油が浮いている。油圧ショベルが落ちた跡があり、人が乗っていた可能性もある。」との通報により出場。 視界が約10センチメートルと悪く、わずかに差し込む太陽光線と水中ライトを頼りに検索活動を実施。 人命検索のため運河内へ潜水した。 水深約9メートルで油圧ショベルを発見した。 油圧ショベル周囲を手探りで検索した。 検索中、不意に油圧ショベルの影に入ってしまった。 太陽光線が届かず、急に視界が無くなった。 ある所を境に視界及び方向感覚を失った。 細索が油圧ショベルの一部に引っ掛かる。 回避しようとするも、身動きがとれなかった。 引っ掛かった細索がほどけ態勢を立て直した。		

◎ヒヤリハットが起きたのはどうしてだと思うか？また、どうして負傷事故に至らなかったか
○直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。 ・避難・退避がうまくいった。 ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因
(心理・体調について) ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 ・活動に対する経験が不足していた。 (活動環境について) ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 ・狭隘な場所であった。 ・現場周辺の地理に不案内だった。 (指揮・管理について) ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）